



接続可能エンティティ プロファイルの設定

この章は、次の項で構成されています。

- [GUI を使用したアタッチ可能エンティティ プロファイルの設定 \(1 ページ\)](#)

GUI を使用したアタッチ可能エンティティ プロファイルの設定

Cisco ACI ファブリックは、リーフポイントを通してベアメタルサーバ、仮想マシンハイパーバイザ、レイヤ2スイッチ、またはレイヤ3ルータなどのさまざまな外部エンティティに接続する、複数の接続ポイントを提供します。これらの接続ポイントは、リーフスイッチ上の物理ポート、FEX ポート、ポートチャネル、または仮想ポートチャネルにすることができます。

接続可能エンティティプロファイル (AEP) は、同様のインフラストラクチャポリシー要件を持つ外部エンティティのグループを表します。インフラストラクチャポリシーは、さまざまなプロトコルのオプションを設定する、物理インターフェイスポリシーで構成されています。

AEP は、リーフスイッチで VLAN プールを展開するのに必要です。カプセル化ブロック (および関連 VLAN) は、リーフスイッチで再利用可能です。AEP は、VLAN プールの範囲を物理インフラストラクチャに暗黙的に提供します。AEP についての詳細は、『[Cisco ACI Fundamentals Guide](#)』を参照してください。

手順

- ステップ 1** Cisco APIC にログインします。
- ステップ 2** メニューバーで、**Fabric > External Access Policies** を選択します。
- ステップ 3** 左側の [Policies] ナビゲーション ウィンドウで、[Policies] および [Global] フォルダを展開します。
- ステップ 4** [Attachable Access Entity Profiles] フォルダを右クリックして [Create Attachable Access Entity Profile] を選択します。

ステップ 5 [Create Attachable Access Entity Profile STEP 1 > Profile] ダイアログボックスで、次の手順に従います。

- a) [Name] フィールドに、名前を入力します。
- b) [Enable Infrastructure VLAN] チェック ボックスをオンにします。
- c) [Domains (VMM, Physical or External) To Be Associated To Interfaces] エリアで、[+] アイコンをクリックします。
- d) [Domain Profile] ドロップダウン リストで、ドメイン プロファイル (VMM ドメイン) を選択します。
- e) [Update] をクリックしてドメインを更新します。
- f) [Next] をクリックします。

ステップ 6 [Create Attachable Access Entity Profile STEP 2 > Association To Interfaces] ダイアログボックスで、次の手順に従います:

- a) ホストに対して作成したインターフェイス ポリシー グループを選択します。
- b) 選択したインターフェイス ポリシー グループごとに、[All] または [Specific] を選択します。

[All] を選択した場合、アタッチしたエンティティは、ポリシーグループに関連付けられたすべてのインターフェイスに適用されます。[Specific] を選択した場合、インターフェイス ポリシー グループ リストの右側に表示される [Switch IDs] ドロップダウンリストからスイッチ ID を選択します。

- c) [Finish] をクリックします。
-